

我が社のイチ推し！



下関鍍金株式会社（山口県下関市）

製品価値を高める多彩な表面処理技術
現場力と柔軟な対応力が支える品質と信頼

本社工場はニーズに応じて増設・更新

表面処理の豊富なラインナップ

下関市長府の工業団地に工場を構える下関鍍金株式会社は、金属部品や素材の腐食防止・美観向上に欠かせない「めっき」をはじめ、表面処理分野で高い技術を誇る。長年培った対応力と豊富な処理技術は、大手メーカーからも厚い信頼を集めている。

同社は1954年、現社長・岩佐裕児氏の祖父にあたる岩佐光次氏が創業した。当初は無線機関連の会社として船舶用無線機などを扱っていたが、防錆めっきのために製品を遠方へ送る負担を減らそうと、自社で処理を始めたことがめっき事業の出発点となった。その後、家電部品のめっきにも対応し、1980年代後半には半導体関連の取引が始まった。さらに自動車や航空機関連の部品など、顧客から寄せられる要望に一つひとつ忠実に応えてきた。

処理対象となる素材は、鉄やアルミ、銅など多岐にわたり、素材や用途に応じた技術が求められる。同社は硬質クロムめっき、装飾クロムめっき、イリジウムめっき、アルマイト加工など多様な技術を備え、幅広い製品に対応している。岩佐社長は「当社の仕事は、まずお客様の製品があって成り立つ。だからこそ、それに応える技術力と品質を大切にしている」と語る。



西日本最大の自動装飾クロムめっき装置

難題に応える現場力と柔軟な対応力

同社の強みは現場の創意工夫と柔軟な対応力にある。これまで多様な顧客ニーズに真摯に向き合い、一つひとつの課題に応えてきた。複雑な形状の精密機械や針状製品へのめっき、3mを超える大型製品への表面処理など、難易度の高い案件にも挑戦を重ねている。

また、複数の工程を一度に処理する技術を確認したほか、めっき工程だけでなく洗浄や研磨など前後工程も自社で一貫対応するなど、取引先のコスト削減や納期短縮につながる提案にも努力を惜しまない。熟練者のノウハウと若手の発想を掛け合わせ、改良を重ねながら、「お客様の期待に応える」（岩佐社長）技術を磨いている。

こうした積み重ねにより、特殊分野にも対応できるめっき技術と、多品種の製品を安定して量産する力を備えてきた。また、品質管理では、製造と検査を切り離さず、各工程の担当者が検査まで責任をもつ体制が整っている。「現場が最後までやり遂げる」という岩佐社長の方針が根付き、安定した品質と顧客の信頼を支えている。



技術を受け継ぐめっき処理

変化する環境とニーズに応じていく経営

経営面では、2009年に5代目社長に就任した岩佐社長が、複数の経営課題に直面するなかで改革に着手し、物心両面の改善を進めた。「いい会社を目指そう」を理念に掲げるとともに、「経営環境の悪化にも対応できる強い会社づくり」を基本方針に定めた。「変化」ではなく「悪化」という言葉を選んだのは、「順調な時よりも、厳しい局面でこそ会社の真価が問われる」という考えからで、その姿勢は現在の経営にも息づいている。

岩佐社長は「今が良くても安心はできない。お客様から選ばれ続けるために、求められる技術力と品質を磨き続けていきたい」と話す。足元では、中東情勢の不安定化など、めっき業界にも影響し得る外部要因があるなかでも、同社は悪化局面にも柔軟に対応するしなやかな経営で、逆風を乗り越える構えだ。

無線機に始まり、家電、半導体、自動車など、時代を映す製品とともに磨いてきた技術で、下関鍍金はこれからも、さまざまな製品の表面を輝かせていく。



本社社屋

下関鍍金株式会社
代表取締役 岩佐 裕児 氏
本社：下関市長府港町7番13号



ホームページ

